

ひめだ高宏ニユース

日本共産党 和歌山市会議員

No.946

13.2.13

微小粒子状物質PM2.5の測定

微小粒子状物質(PM2.5)とは、大気中に浮遊する粒子状物質のうち、特に粒径の小さなものをいいます。粒径2.5μm(マイクロメートル)以下の微小粒子物質で、粒径が極めて小さいため、呼吸器疾患や循環器疾患への影響が懸念されています。マイクログラフィック(μg/m³)以下の微小粒子物質で、粒径が極めて小さいため、呼吸器疾患や循環器疾患への影響が懸念されています。マイクログラフィック(μg/m³)以下の微小粒子物質で、粒径が極めて小さいため、呼吸器疾患や循環器疾患への影響が懸念されています。

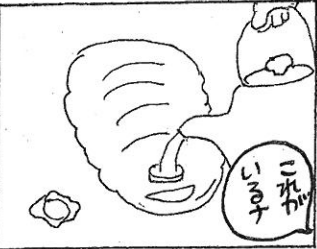
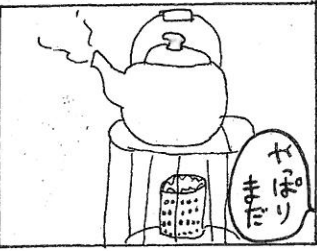
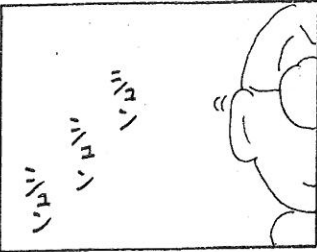
過去の測定値
2012年度(月ごとの日平均値)
単位:μg/m³

	湊小学校	小倉小学校	和歌山粒井高等学校
4月	20.4	16.4	17.9
5月	20.1	18.4	22.0
6月	12.7	11.8	16.3
7月	14.0	13.1	15.9
8月	10.9	9.3	10.7
9月	10.1	11.8	13.8
10月	11.7	12.8	16.8
11月	14.7	12.3	17.2
12月	13.5	11.5	14.8
1月	17.2	14.1	17.8

フリーの人々



1929



分の1の単位です。

和歌山市では、湊小学校、小倉小学校、市立和歌山高校の3カ所に測定局を設置。その水に自動測定機を設置して常時測定を行っています。測定結果は毎日、和歌山市のホームページで公表。(前日分を翌日公表。土、日、祝日の測定結果は翌開庁日に公表)公表は2月12日(火)午後から始まりました。

和歌山県は、海南市役所に自動測定局を設置し、この測定結果は、県のホームページで公表を同じく12日から始めたこのことです。ディーゼル車の排ガス、工場のばい煙、暖房用の化

石燃料の燃え残りから排出されることとです。

こんにちは
日本共産党の
ふじい健太郎
です。
(その356)

中之島の生活相談所で週に何回か相談員として詰めています。月曜日から金曜日までの午前中だけ店開きしていますが、開けていれば人は入ってくるものです。できれば午後も開けていたのですが、相談員を増やしていく必要があります。これはまだ、私個人の構想の段階ですが「生活相談マニュアル」をつくり、生活相談教室を開いて相談員の養成を始めたのと密かに構想を練っています。できれば「生活相談教室」の講師も募りたいとも思っていますので

「賛同いただける方はご協力をお願いします。中之島の生活相談所では、毎月ニュースを発行して、社会保障の諸制度や生活相談の特徴についてお知らせしています。姫田ニュースをお読みの人には届かないのが少し残念ですが、そのニュースを見たという人がニュースを持って相談に訪れたりしています。つい最近も私も全然知らない人から相談がありました。生活相談所が、一人で悩んでいる人よりどころになり、少しでも手助けできればとの思いから、今日も詰めています。



ふじい健太郎
前県会議員

無責任な
原発推進

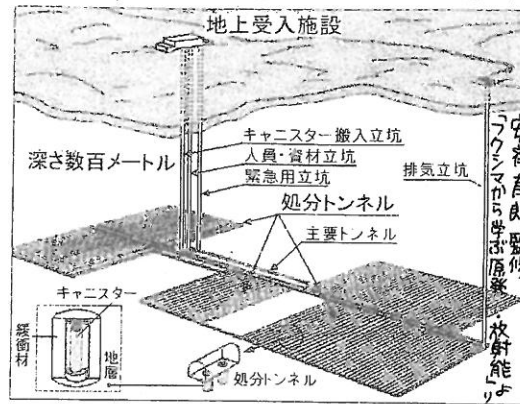
原発ゼロしか道はない

2月10日(日)21時からNHKテレビで「核のゴミ」はどこへ」という番組が放送されました。原子力発電所の「使用済み核燃料」の処理に焦点を絞って、原発が抱える課題を検証するものでした。

この番組が鋭く告発したのは、なによりも核のゴミの処理方法が確立されていないにも関わらず原発の稼働を

働をどんどん進めてきたという事です。使用済み核燃料を再利用するための青森県六ヶ所村の再処理工場はいまだに操業の目途がありません。処理できないものは各原発のプールに仮置きされていますが、そのスペースも残り少なくなっています。下図のようにガラスで固めて密封容器に入れ地下に保存する計画は、受

け入れる自治体がひとつもなく、とても「計画」と呼べるものではありません。



こんにちは日本共産党



市駅の近くに「勝海舟寓居地」という碑があります。150年ほど前(1863年)、紀伊半島は防衛の要所だと、幕府の軍艦奉行の勝海舟が10

数人のお供を連れて清水平右衛門の豪邸に4日間滞在したのです。そのお供の1人が坂本竜馬でした。平右衛門はそのことを書き残しています。「坂本は丈も高く筋骨も逞しくて、先生の馬廻りを離れずに歩き、駆けつけていた。ある日、和歌浦から帰って風呂に入ったところ凄まじい音が響いて、



原やすいさ (参院選区)

「あっ、しまった!」と声が出た。風呂桶の輪が壊れて底が抜けていた。当人は濡れ衣のように板の間に突っ立っていて、皆は抱腹絶倒した」と。

福島を忘れない!
原発ゼロ 和歌山3.10 フェスティバル
 2013年3月10日(日) 11:00~
和歌山城西の丸広場

京大・小出裕章さんのお話。
 福島県の方々のお話。
 乗れる! SL機関車がやってくる!
 ライブパフォーマンス、フリマ、飲食店
 展示、原発さよなら行進など
 内容盛りだくさん!!!

ライブ出演 出店者
大募集!

原燃イライラっっっっ
NO! NUKES

3月10日は西の丸に集まる

東日本大震災から2年、いぜんとして福島原発事故は見通しも立っていません。避難された方々は、仮設住宅で、あるいは県外でたいへん苦しい暮らしを強いられています。

労働組合や民主団体、原発ゼロを求める団体、個人の方々と共に、日本共産党も実行委員会に入って、3月10日(日)の午前11時、午後4時まで、「福島を忘

れない! 原発ゼロ和歌山3.10フェスティバル」が開かれます。11時~14時まで日本共産党のテントでは、福島の写真パネル展や書籍の販売が、各団体も楽しい催しを企画中です。全体集会のあとは、追廻門~三年坂~関電~ヤキ大通り~西の丸まで原発さよなら行進も行われます。

お誘いあわせのうえ、ぜひおこしください。